



もしも突然の集中豪雨に襲われたら・・・もしも大きな地震が起きたら・・・あなたや家族は大丈夫ですか。発生時間が夜中や通勤中だった場合はどう行動しますか。被害を減らすためには、災害を正しく理解し、備えることが大切です。

ペットと備える防災！

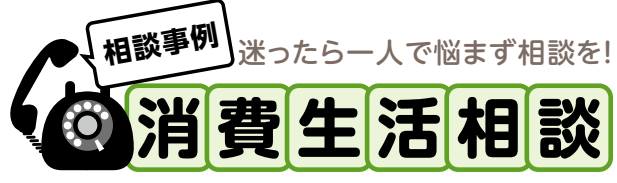
発災時、あなたとペットの避難はどうしますか。避難所では、ペットの鳴き声や臭い、脱走、アレルギーなどによる他の避難者とのトラブルを避けるため、避難者とペットの居場所は分けられ、飼い主による適切なお世話が必要になります。ペットはキャリーバッグやケージの中で過ごすなど、環境変化によるストレスから体調を崩すことがありますので、事前に、普段とは異なる環境で過ごす練習をしておきましょう。

また、避難とは必ずしも避難所に行くことだけではありません。在宅避難、親類や知人の家への避難、宿泊施設の利用など、ペットとの避難方法やペットの預け先など、事前に災害時の過ごし方を検討しておきましょう。



▲あらかじめケージなどでの生活に慣らしておきましょう

問い合わせ 市防災安全課 ☎43・8107



このコーナーでは悪質商法や商品事故など実際に起きている、消費生活における問題事例を紹介しています。消費者被害は決して他人事ではありません。迷ったり、困ったりしたら、一人で悩まず、ぜひ相談してください。

相談事例 火災保険を使った住宅修理！

知らない業者が家に来て「お宅の屋根は修理しないと大変なことになる。火災保険を使えば自己負担はない」と言われ、慌てて契約してしまいました。

アドバイス 本当に保険の適用対象ですか？

火災保険を使って家の修理をする場合、業者の言うことを鵜呑みにすると請求した保険金が支払われず、工事費が自己負担になったり、高額な解約料を請求されたりするケースがあります。まず、保険の適用対象になるか、申請をどのようにするかを加入している保険会社に直接相談しましょう。

また、必ず複数の業者から見積もりを取り、契約内容や工事内容を慎重に検討することも大切です。訪問販売や電話勧誘販売で契約した場合、契約書面を受け取った日から8日間はクーリング・オフをすることができます。

問い合わせ 市消費生活相談窓口 ☎43・8106 (毎週月曜・水曜・金曜日の午前9時～午後4時)
※県消費生活センター ☎092・632・0999でも、随時相談を受け付けています



このコーナーでは、持続可能で、誰もが幸せなまちづくりの実現に役立つ情報を掲載しています。

11 住み続けられるまちづくりを



ふむふむプロジェクト始動！中学生体験活動プロジェクトを開催します

少子化の加速、外国人の増加による多文化共生の進展など、自治体を取り巻く環境が著しく変化しています。そのような中、ふるさとに愛着と誇りを持ち、SDGsが目指す持続可能な社会の創り手として、将来さまざまな分野で中核的な役割を果たしていくグローバルな人材を育成する、その名も「ふむふむプロジェクト」を宗像市との共催で開催します。

今回は、中学生を対象に「海外からの移住プロジェクト」と題して開催します。奮ってご応募ください。

海外からの移住プロジェクト

海外在住の外国人に向けてオンラインで英語のプレゼン



▲講師のアン・クレシーニさん

セッションを行い、福津と宗像のどちらに住みたいか選んでもらうコンペティションを実施。プレゼンテーションの作成を通して、自分のまちの魅力を再発見するとともに、外国人が暮らすための環境整備について考えます。

日時 8月21日(土)、8月22日(日) 午前9時～午後3時

場所 グローバルアリーナ(宗像市) ※福津市役所からの送迎バスあり

対象 市内在住の中学生15人

※申し込み多数の場合抽選

日程 【1日目】各市について学ぶ、プレゼン作成 【2日目】海外在住の外国人の前で発表、投票

講師 北九州市立大学准教授 アン・クレシーニさん

受付方法 スマートフォンなどから申込専用フォームにアクセスし、必要事項を入力して申し込んでください。以下のQRコードからアクセスできます。



受付期限 7月30日(金) 午後5時

問い合わせ 市まちづくり推進室 ☎43・8121

環境掲示板

絶滅危惧種ハマボウが見頃を迎えます

ハマボウはおおむね関東南部以西の沿岸部に分布し、河口や干潟などに生育する木です。市内では7月から8月にかけて、爽やかな黄色い花が一斉に咲きます。背が高いものは5mほどに成長し、直径5cmくらいになる花はとても美しく、その形から「和製ハイビスカス」と呼ばれています。花は一日で枯れてしましますが、次から次に開花し、見る人を楽しませます。

「津屋崎ハマボウの会」の皆さんが黒石川沿いを整備しており、開花の時期は



▲黒石川沿いのハマボウ

川沿いが黄色く彩られます。また、津屋崎干潟では「干潟みまもり隊」の皆さんが保全活動を行っていて、落ちた種から誕生した新しい株があらこちで芽吹いています。

ハマボウは昔、ロープなど、生活の道具にもなっていたなじみ深い植物です。

しかし近年、開発でその生育地は全国的に減少し、福岡県でも絶滅危惧種Ⅱ類に指定されています。ハマボウを絶えさせることなく、後世に残していきたいものです。

地球温暖化防止に向けて 私たちにできること

今のまま温暖化が進むと、21世紀末には自然環境や人の暮らしに深刻な影響を与えるとされています。温暖化を抑えるという世界的な動きの中、日本は昨年10月に「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」ことを宣言しました。

地球温暖化が原因と見られる異常気象によって、世界中で海面上昇や干ばつ、砂漠化などが引き起こされています。県でも、近年豪雨による被害が多発しています。私たちのすぐ身近なところにも温暖化の影響が及んでいると言えます。

そこで、地球温暖化を防ぐために、私たちに何ができるのでしょうか。

市ではSDGsの考え方を踏まえた環境保全に取り組んでいます。このコーナーでは、市民の皆さんの生活に身近な、ごみや動物、環境に関するお知らせします。

問い合わせ 市うみがめ課 ☎62・5019

市在住で福岡県地球温暖化防止活動推進員として地域で地球温暖化対策を推進する丸尾哲郎さんは「一人一人の意識と選択が大切。例えば、服の購入は使用済みの服を店頭でリサイクルしている店を利用するという選択や、食料品や飲料をマイボトルなどの再利用可能な容器で購入し、無駄なゴミを出さない、という選択です。将来、人の暮らしの中には、こうした新しい選択肢や情報が次々に出てきます。何より大切なのは、一人一人が地球に優しくしようという意識を持つことです。その中で、無理なく自分のできる選択をして欲しいです」と訴えます。

私たちが身近にできることのひとつに、家庭での省エネが挙げられます。県では、毎月の光熱費やゴミの量が一目で分かる「環境家計簿」を配布しており、市役所や市立図書館でも配布しています。地球に優しい暮らしをするためのきっかけとして、ぜひ環境家計簿をつけてみましょう。